

第357号
平成28年

11月10日

すまいるたうん



発行元
東京新聞
南千住東口専売店
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

「もったいない」が命を繋げる。
フードバンク（食品の銀行）
へあなたの余剰食品を！

「食べもので気持ちをつなげたい」

フードバンクは、食品企業の製造工程で発生する規格外品などや、各家庭でまだ食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食べ物（いわゆる食品ロス）をフードドライブ（食べ物を集める運動）して福祉施設や生活困窮者へ無料で提供するボランティア団体です。「提供する場、必要とされる方が増えています」

活動を始めた2000年頃には、福祉施設や炊き出しなどでホームレスの方に集まった食品を提供していました。現在では、それに加え、難民支援・貧困家庭・DVシェルター・子ども食堂（家で満足な食事を取れない子どもにも暖かい食事を提供する場所）に提供しています。

「食品ロスが命を救います」

食品ロスの量は全国で年間632万トンとされています。食品ロスの約半分は家庭から出ていると言われています。家庭における1人当たりの食品ロス量は、一年間で約24キログラムと試算され、

ご飯1食を150グラムとした場合、160回分の食事に相当します（農林水産省および環境省「平成25年度推計」）。荒川区が毎年実施しているごみ組成調査でも未使用の食品がたくさん出ています

【十匙一飯（シプシルバン）】

韓国の言葉です。ご飯10匙（スプーン）がひとつの器になる。みんなの力を合わせれば、人を助けることができる意味です。

食べ物にひとりひとりが意識をもつことで困窮者の支援ができると共に「もったいない」食品ロスを減らすエコ活動ができます。

「もったいないが命を繋げます」

食べることに事欠く子どもがいます。皆さんが廃棄される食材でお腹を満たすことができる人が大勢います。

茶碗一杯のお米でも缶詰一つでも、笑顔をもたらします。ひと月早いクリスマスプレゼントをしてみませんか。その優しさがほっこりした暖かさとなって戻ってきます。

11月12日（土）荒川福祉まつり（荒川総合スポーツセンター）の時に皆様のご家庭で眠っている食品をお持ちください。

当日、お越しなれない場合は、荒川社会福祉協議会（TEL 3802-3338）にて受け付けております。



2016 フードバンクDAY 食べもので気持ちをつなげたい

11月12日（土）朝10時～午後3時

場所：荒川総合スポーツセンター 2階エレベーター前

食品受付品目

【お米（白米・玄米）】…平成26年度産以降のもの

【食品】※賞味期限が2ヶ月以上残っているもの レトルト食品／缶詰／調味料／乾麺／非常用食品／飲料水／インスタント食品／お菓子

【金券】お米券／ビール券／商品券／切手 他

×受け取り不可 生鮮食品／開封済の食品 賞味期限が2ヶ月未満のもの 商品説明が外国語のみもの

主催：フードバンク 東京都荒川区東日暮里1-36-10 あうん気付

共催：荒川区社会福祉協議会・荒川社会福祉士会

